



長女の夢

3人目がお腹に宿つたとわかつた昨年の夏。酷暑とつわりのため、仕事が無い時間は寝てばかりだった。そんな私の横で、小学1年生の長女はあるものにはまっていた。それは、サスペンスドラマである。

みなさんもご存知かと思うが、一日の中で必ずどこかのチャンネルで見ることが出来る。彼女が特にはまったものは、「警視庁 鑑識」のシリーズ。録画して毎日見ていた。ある時、彼女がこう言った。「私、警察の鑑識の人になりたい」と。私は驚いて思わず笑ってしまったが、彼女の希望に満ちたキラキラした目を見ると、うれしくなった。



羽ノ浦町 松坂 愛貴さん

長女の純粹な姿を見ると、夢を持つことはなんて素敵なことなのだろうと改めて感じた。現状に満足せず、夢や目標を持つて生きるこの大切さを長女から教わった気がする。

子どもの将来は何がきっかけで決まるかわからない。子どもの将来のために、私が今から何をすべきか。そのきつかけを与えていくのは親の役目かもしれない。

3月末に誕生する3人目。長女が小学2年生の春・夏の休みに、私は育児に追われることになる。母親が育児に奮闘する姿を近くで見ると、経験によつて、長女の夢に「母親になりたい」も追加されるだろうか。長女にそう思ってもらえるように、楽しんで3人目の育児をしていきたいと思う。

次は、羽ノ浦町の梶田美穂さんをお願いします。

市民文芸

短歌

阿南市文化祭
短歌大会選

市長賞

松島 博子

国債は一千兆のこの国を「危機、危機、危機」と百舌の高鳴き

議長賞

森 歌子

庭隅に赤く燃えつつ鶏頭は晩夏の日射し撥ね返し咲く

教育長賞

宮本久美子

刈りあとの藁を束ねて敷わらに夕陽がたまる吾の晩鐘

互選賞

原 美智子

秋刀魚焼く煙の向こうに七輪の炭火煽いだふるさと見える

互選賞

西崎まき子

艶つやの粒を双手に掬ひをり猛暑のなかに穫れたる新米

入選

米田千代美

亡き父に似てると思ふ塩鮭の皮のところを好みて食べる

入選

倉橋寿満子

雲流る上層は南へ低きは北へ夏と秋との立体交差

中学生「短歌のポスト」投稿歌

入選

谷口 海人

運動会友へつなげたバトンパスこの瞬間を心に刻む

入選

佐々木睦美

「努力して花咲かす」というこの言葉いつも私の背中を押している

入選

黒川 瑞季

助手席の窓から見える風の色の今年秋の早さを告げる

入選

原田奈々子

半年後笑う自分を想像し今日も明日も机へ向かう

入選

相原 涼

ひまわりに負けないように背のびする小さな子供の輝く笑顔

入選

白 夕華

帰り道夕焼滲む坂道に揺れるふたりの影をみつめる

入選

八木 邦広

朝練で毎日練習がんばった日やけた肌は努力の証

入選

畠山 愛理

陸上のみんなですそろえたTシャツは絆が深まる青春の証

俳句

阿南市俳句
連合会選

引ずるは羽織袴と千歳飴

鳥海 勇二

襖絵の虎が水呑む冬の寺

神原 鹿山

蜜柑食ぶ花びらの如皮重ね

神野 島女

断捨離へ押入れ家宅搜索し

淡島 春海

小春日や御足浮き立つ観世音

荻原 朝子

紅葉狩神馬の像の跳ばんとす

佐野 極童

若き日の日記ひもとく夜長かな

新居 青々

行く秋やいくたび馬齢重ね来し

金本ひろみ

瀬戸内の島を遙かに芒原

松村みどり

榎櫃の実廃墟久しき塀の内

岡久 玲子

幼子も銭投げ入るる十夜かな

滝川 太郎

好きな色塗って余白を使い切る

湯浅 三子

働けることの仕合わせ明日がある

田上 鶴子

人生を鈍感力で乗り越える

渡邊ミヅエ

ラブソングそわそわ聴いた日の無口

武田 敏子

断捨離へ押入れ家宅搜索し

高木旬笑選

川柳

阿南川柳会

高木旬笑選

阿南川柳会

高木旬笑選

高木旬笑選

高木旬笑選

高木旬笑選

高木旬笑選

高木旬笑選

高木旬笑選

高木旬笑選